

月	単元名	時数	学習内容	各単元の観点別評価規準			評価方法・資料等
				① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度	
4	技術分野のガイダンス 技術分野の学習を始めよう	2	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表する。 身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察する。 3学年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして、3年後にできるようにしていきたいことを内容ごとにまとめる。 			<ul style="list-style-type: none"> 技術が人間の生活を向上させ、産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割について関心を示している。 環境との関係で問題を起こし、それを技術の開発で乗り越えようとしている事例に関心を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の活動の観察②③ ワークシート①②③ 教科書・ノートチェック③ 作品の進捗状態①②③ 作品の加工状態①②③ 作品評価②③ 発言、発表③ 定期考査①②③ 作業態度③ 宿題①②③ 提出期限③
5	A(1)アイ 材料と加工の原理・法則と仕組み	5	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの材料と加工の技術 木材、金属、プラスチックの特性 材料に適した加工方法 丈夫な製品を作るために 材料と加工の技術の工夫の読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。 身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気づくことができる。 材料と加工の技術に込められた工夫点について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。 	
6							
7	A(2)アイ 材料と加工の技術による問題解決	16	<ul style="list-style-type: none"> 問題の発見、課題の設定 製作品の構想、設計 製図 製作の計画 作業手順を考えた製作 問題解決の評価、改善・修正 	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な図の描き方を理解している。 製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。 構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 	
9							
10							
11							
12	A(3)アイ 社会の発展と材料と加工の技術	2	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工の技術の最適化 これからの材料と加工の技術 	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工の技術の最適化について考えている。 これからの材料と加工の技術について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 	
1	D(1)アイD(2)ア 情報の技術の原理・法則と仕組み	10	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術とは 情報のデジタル化 情報通信ネットワークの仕組み 安全に利用するための情報モラル 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解している。 情報通信ネットワークの構成について理解している。 情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けている。 身の回りにおける情報の技術に込められた工夫について考えている。 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けている。 	
2							
3							
	D(2)アイ 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決		<ul style="list-style-type: none"> 安全に利用するための情報セキュリティ 情報の技術の工夫の読み取り 双方向性のあるコンテンツとは 問題の発見、課題の設定 コンテンツの構想 コンテンツのプログラムの制作 問題解決の評価、改善・修正 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。 情報セキュリティの基本的な知識について理解している。 双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けている。 身の回りにおける情報の技術に込められた工夫について考えている。 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 	
配当時数合計		35					